

まちのスケッチブック

あたらしいまちづくりをめざす VOL-5

泉佐野市議会議員 ちよまつ ひろやす **千代松 大耕** (27歳)



三月定例会の流れ

二十一世紀が始まってから泉佐野市政がたびたび新聞紙面を飾り市政の混乱が市民の皆様周

知のこととなりました。そういった中、平成十三年各会計当初予算が上程される三月定例会が三月五日より開催されました。定例会の初日に新田谷市長が平成十三年度の「施政に関する基本方針」を表明し、財政危機の中で赤字再建団体転落を防ぎ、「自主再建」するための緊縮予算、平成十三年各会計予算案が上程されました。そして三月九日から予算特別委員会が開かれ、四日間にわたり審議されましたが、一般会計の採決で反対多数(賛成三対反対八)により否決となつてしまい、一般会計から他会計に繰出している部分があるので、この否決により他会計の審議がストップするという異例の事態に陥つてしまいました。新田谷市長は各会派をまわり、意見を調整し、改めて修正案を後半の本会議で上程しました。この修正案は緊縮予算を

さらに八億円削減したものであります。この八億円の中にはコスモ跡地を大阪府から買い戻す三億円を府の承諾を得ず省いたり、義務的な経費である退職手当までを計上しない強引な削減でありました。この予算が再度予算特別委員会に付託され、反市長派の付帯決議をつけての賛成により予算特別委員会を通過し、三月三十日の本会議にて可決という運びとなりました。

予算の内訳

超緊縮予算の中にあつて一般会計の中に大きく居座っているのが「公債費」であります。これは自治体の借金返済とその利子であります。平成十三年度の「公債費」は5.3億7540万円で前年度から1億1068万円の増で予算構成比において14.6%を占めています。

泉佐野市が以前、閑空ができてとんだんいろいろ投資が出来た懐かしい頃、後年度の税増収という見込みをたてましたが、その時の見込みと現在の実際の差は70億円にもほるといいます。りんくうタウンの成熟等全てがうまくいっていただけ今の状況

にプラス70億されるので何ら問題はなかった訳ですが、閑空効果とはいえず、パブルがはじけた経済情勢下においてよくもこんな甘い見通しをたて、借金をくりかえしたものだと思えます。

こういつた流れの中で

昨年二月新田谷市長が誕生して、泉佐野市財政の危機的な状況が明るみに出ました。

それ以降、新田谷市長は

財政の再建を目指して泉佐野市の構造改革に取り組んで来ました。それに賛同し、今の時期必要はない(と思う)議員海外視察費がついた九月の補正予算以外は一貫して賛成してきましたが、多くの局面で「数の論理」に打ち砕かれ、私自身も苦渋の日々が続きました。しかし考えを少し変えてみますと、「共産党、一部革新勢力以外はオール与党の状態だと政治がほやけてしまうのではなにか」と考えるのであります。以前までの泉佐野市がその良い例であると思えます。今の状態は一部から「泉佐野市の政治危機」と叫ばれていますが、論点が明確であり、政治がわかりやすくなったと思えます。

こういつた時期に今まで泉佐野市に溜まった膿を吐き出し、行政のスリム化を図るべきであります。今後も新田谷市長の取り組みに期待し、私自身も議会を通じて様々な提議をしていくつもりです。

議員研修会

赤字再建団体転落の危機にある泉佐野市において、議会でも

「再建団体とはどのようなものなのか？」

ということ、「財政再建(準用)団体について」の研修会が大阪府から職員を招いて二月十五日に開催されました。その中で泉佐野市は転落の危機的な状況にあるが、大阪府も同様に再建団体転落の危機的な状況にあるということが知らされ、一府民として「大阪府が転落してしまえば府民生活にどのような影響を及ぼすのか？」という私の問いに、神谷市町村課総括主査は「具体的に言えば、バスポートの手数料の値上げ、府立高校授業料の他府県レベルまでの値上げなどが起こる」と回答されました。大阪府のような巨大な自治体が転落してしまうかもしれないということには驚きを覚え

(表一)

	平成13年度当初案	修正案	平成12年度	増減額 (対12年度)
一般会計	377億158万3千円	368億2,853万6千円	380億1,918万円	-11億円9,064万4千円
特別会計	276億9,775万円	276億9,775万円	268億6,879万6千円	8億2,895万4千円
事業会計	193億6,296万2千円	193億6,296万2千円	189億9,584万8千円	3億6,711万4千円
合計	847億6,229万5千円	838億8,924万8千円	838億8,382万4千円	542万4千円

ましたが、それ以上に今の地方自治体は、どこも苦しく、現在の地方財政構造というものがもう立ち行かなくなっているということを確認しました。これからは税財源の委譲等の抜本的な構造改革を地方から真剣に唱えて行かなければならない時代であるということを変更して認識しました。

りんくうタウン

三月二十一日の関空問題特別委員会でりんくうタウンの現状についての報告がありました。暫定開発事業予定者の募集についてや、専門化や学識経験者等で構成される「りんくうタウン活用方策検討委員会」の検討内容について報告されました。後日、後半の本会議で森田まちづくり担当調整事がりんくうタウンの暫定開発事業予定者にカルフルが決まったことを発表しました。分譲状況の悪い商業業務ゾーンの暫定開発ということでの大型店舗ですが、それでも「またか」という感があります。今後は色々区分けされているゾーンを緩和し、国・府の学術機関等の移転とか、人が恒久的に集まるしかけを作っ

ていただきたいと思えますし、私も出来る限りそのようなことを提唱していきたいと考えています。



カルフル(幕張店)

千代松大耕の一言

今、中央の政界では自公保連立という枠組みで政権の運営がなされており、中央の枠組みで政治が行われているわけではありません。保守党の代議士が自民党の推薦した市長候補を必ずしも応援するわけはありませんし、公明党の議員が自民系の市長の出す議案に対して全て賛成するわけでもありません。

共産党の議員が地域のおかれていた状況を踏まえて一部の料金改定案に賛成したりしても別におかしいとは思わないですし、そんなに騒ぐこともないと思うのですよ...

あたらしいまちづくり(5)

今回は三月三日(日)に行われた八尾市土日議会を個人視察してまいりました。

「傍聴者がいっぱいに入れるのかな?」との思いで行ったのですが、対応してくれた議会事務局の職員さんによると、「普段の議会より若干多い程度」との期待外れ?の言葉が返ってきました。しかしその職員さんによると「休日に出勤した分は代休を取り対応して土日議会の経費をなるべく節減している。また今後1年間は続けていきたい。」との言葉には市、議会が一丸となって市民への開かれた政治の実現に努めていると実感しました。



八尾市庁前にて

八尾市議場(本会議終了後)

ホームページのアドレスが変わりました

新しいアドレスは <http://www.3.ocn.ne.jp/~chiyo51/> です。議会報告、一行日記等内容も新しくなっているので是非アクセス下さい。

出張市政相談を開始します。

市政に関する相談、意見等ございましたら気軽に連絡またはメールして下さい。時間の都合がございましたらこちらから出向かせてもらいます。

連絡先: TEL 0724-58-1708 メール chiyoma51@hotmail.com

千代松大耕プロフィール

昭和48年10月3日泉佐野市松原生まれ(27歳)

泉佐野市議会議員 自由民主党泉佐野支部政務調査会長 自由民主党大阪府連市町村議員連盟幹事 (社団法人)泉佐野青年会議所会員 羽倉崎教育センター非常勤講師